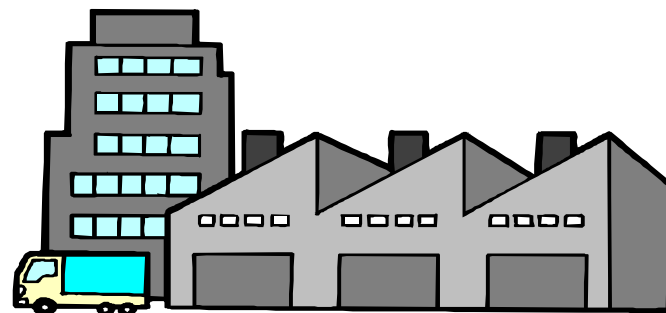




海外との貿易を考えておられる方へ

～保税地域（保税蔵置場・保税工場）の取得に向けて～



大阪税関



①保税地域の種類・機能

(原則)外国貨物【関税法第2条】の蔵置場所の制限

外国貨物は、保税地域以外の場所に置くことができない【関税法第30条】

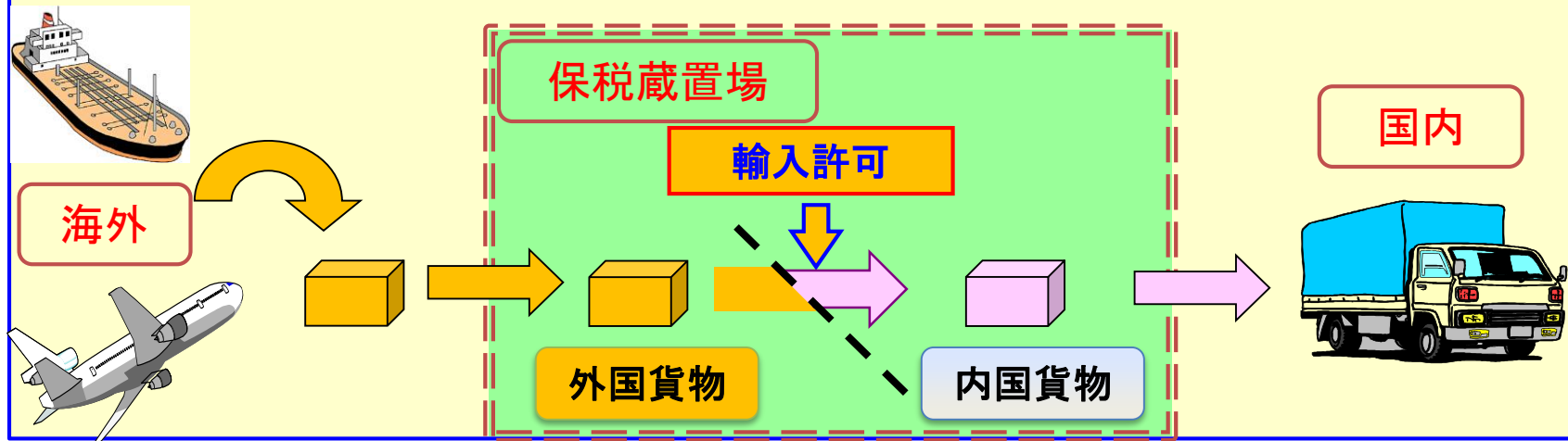
種類 (関税法の関連法令)	形式	メリット
保税蔵置場 (第42条～第55条)	税関長の許可 (許可要件あり)	<ul style="list-style-type: none">●商機をみて、輸入貨物を国内に引き取ることができ(最長2年間(延長可))、蔵置している間は、関税、消費税などを納める必要がありません。●蔵置している間に、貨物の内容点検・改装・仕分けなどの作業ができる。
保税工場 (第56条～第62条)	税関長の許可 (許可要件あり)	<ul style="list-style-type: none">●輸入貨物である原材料について、関税、消費税を納めないままで加工や製造ができる(蔵置期間:2年間(延長可))。●できた製品を外国に輸出するときにも、これらの税金を支払う必要はありません。●保税工場制度を利用しない場合に比べ「コスト面」で優位になります。

ご相談は大阪税関保税許可部門(06-6576-3220)、又は、最寄りの大阪税関支署・出張所へご連絡ください

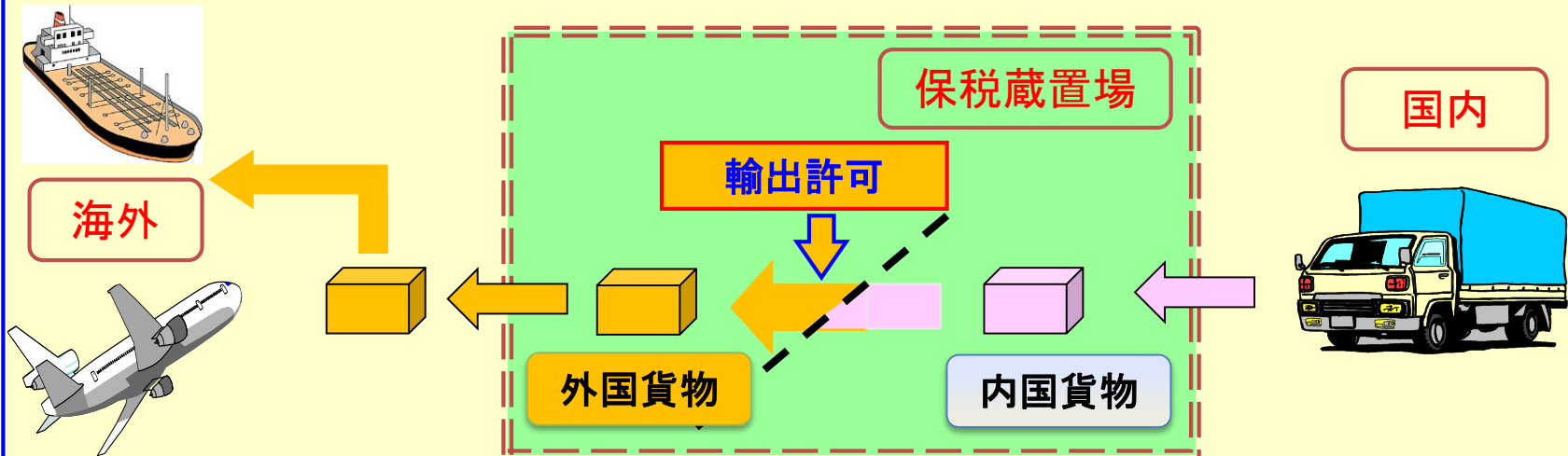
②保税蔵置場

外国貨物を蔵置することができる場所

1. 外国から日本に到着した貨物



2. 輸出許可を受けた貨物



③保税工場

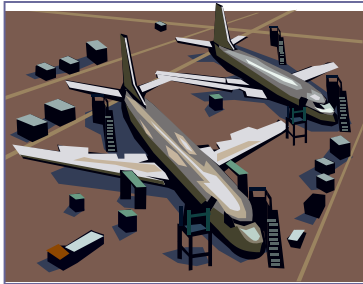
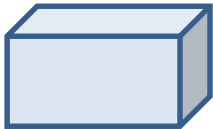
外国貨物の加工や製造ができる場所



原材料

外国貨物

海外



製品

外国貨物

海外

